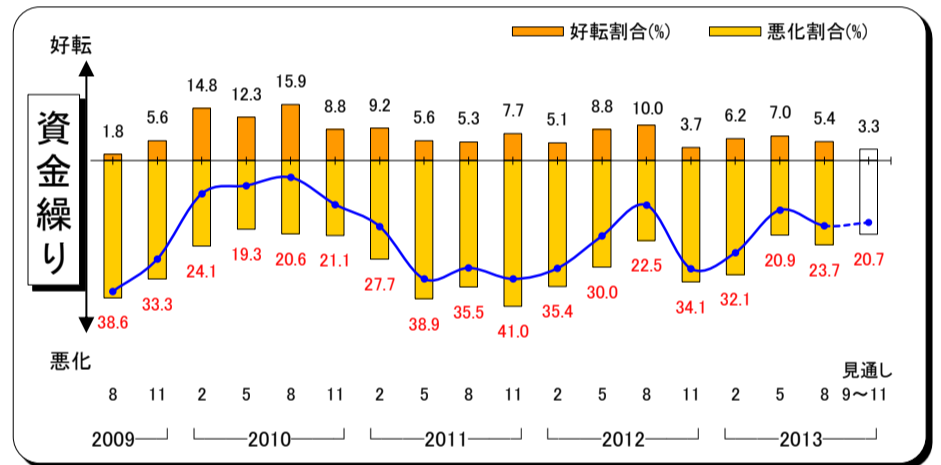
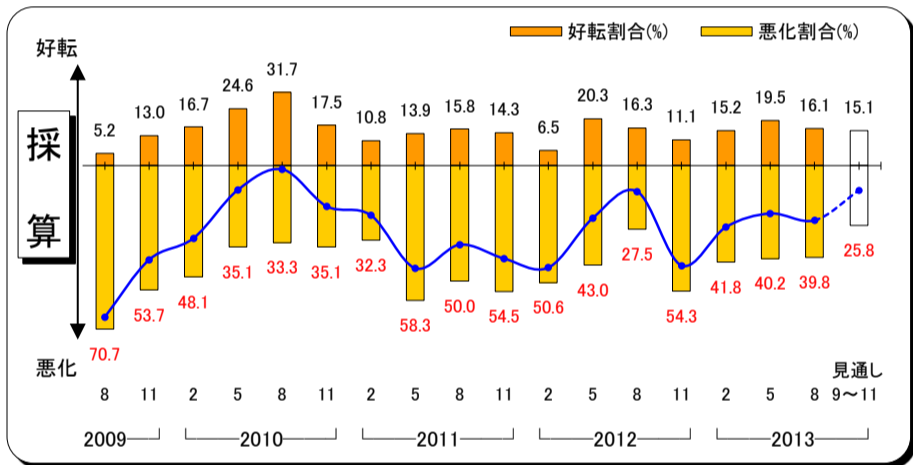
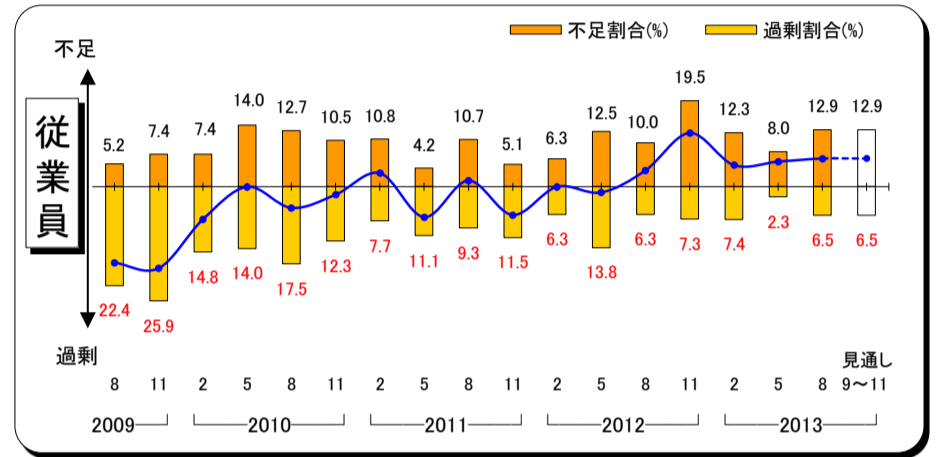
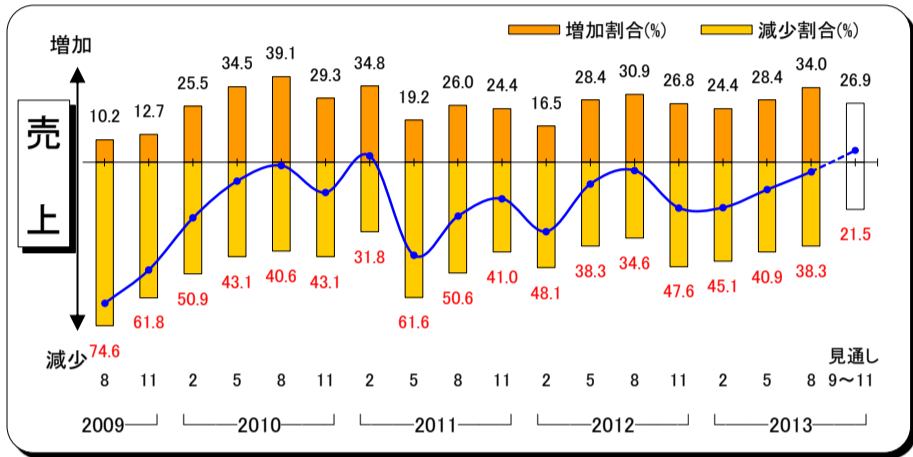
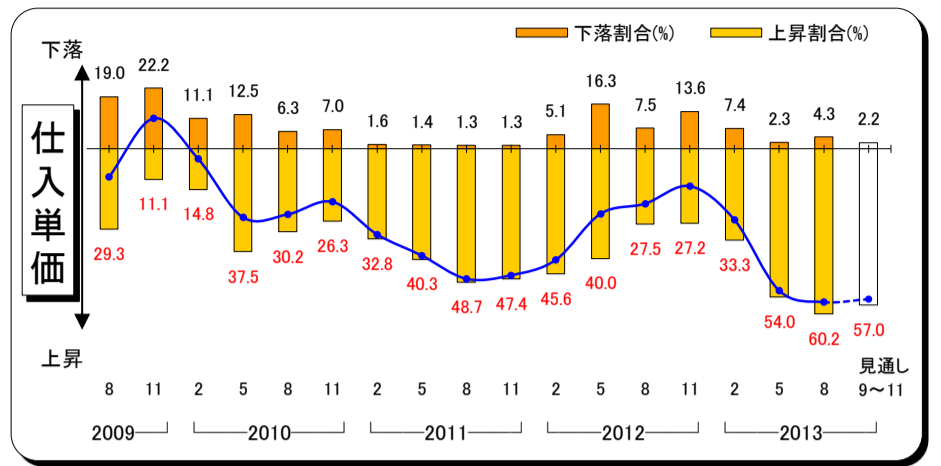
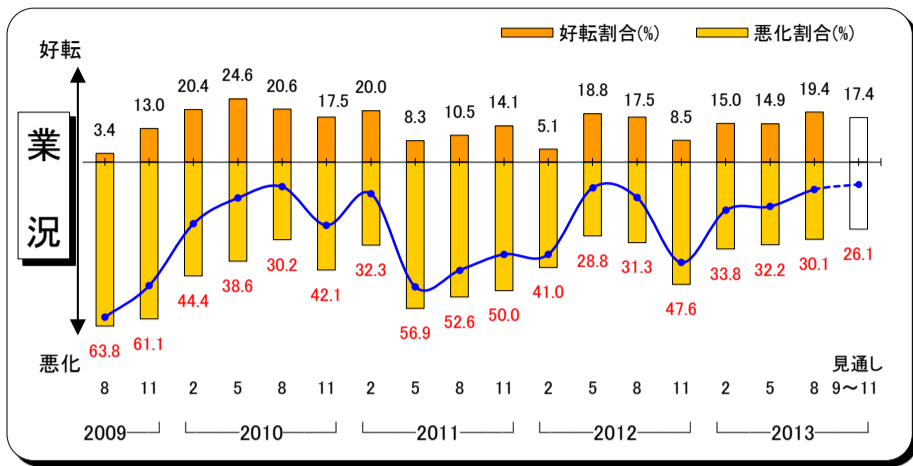


【製造業】①



【製造業】②

企業の声（順不同）

オフセット印刷業	用紙、インク他の印刷材料及びガソリン価格の上昇で、製造コストの負担がどんどん増えていきます。しかし、販売価格はいまだに下落傾向です。
オフセット印刷業	同業他社との価格競争の激化による受注減及び売上高の減少が相変わらず続いております。
オフセット印刷業	印刷の仕事はパソコンの普及により少なくなって来ている。普通の人でも印刷はプリンターで出来る。
オフセット印刷業	先行き、仕入れ単価の上昇はある程度覚悟しなければならないと思っている。採算を取るには、経費節減等で補いながら落ちついた数字を確保したい。
印刷業	売上は若干増加しているが、仕入価格上昇で採算は当面好転にならず。売上の増加に対置するため仕入が増加して資金繰りは大変苦しい状況が続く見込み。
製本業	受注単価、下げ止まらず・・・。
生コンクリート製造業	大型ショッピングセンター建設により、出荷は増加傾向であるが、原材料価格の上昇もあり採算の値上は今一步。夏季に向けて物件数の減少が心配される。
鉄鋼業	現在好調な売上をあげているにもかかわらず、利益額が上がらない。原因は人材育成不足、受注単価減少等。
建設用金属製品製造業	受注時期の影響で、今現在は忙しく生産活動を行なっています。しかし、毎回同じコメントになりますが、この先の見通しはどうか不安です。公共事業関係の予算をある程度確保し、実施していくようなので期待はしていますが、いつになるのか・・・先行き不透明です。
製缶板金業	原材料価格の上昇分を販売価格に転嫁できず、利益を圧迫している。
金属製品製造業	今般、政府が実施している社会保険加入制度のため、経営面はもとより人員確保にも大いに支障をきたしている。ますます苦しい状況になると恐れ先が不安でならない。
金属工作機械製造業	顧客先である建機業界が、全体として業況改善（但し中国は悪化し、米国・ブラジル等が好転）したことにより売上は上昇。納入価格下落により収益は上がりず。アップダウンの波を小さくする為、新規事業を年内に立ち上げ、上下の波を小さくする。
生産用機械・同部分品製造業	小規模下請企業にも、ようやく光が注して来た。小企業の回復期は遅く、衰退期は速い。国の継続的な支援策に期待する。
理化学機械器具製造業	引合い件数は僅かに増加傾向にあるが、受注量は増加せず、まだまだ先行き不透明である。
電子管製造業	海外製部品の購入で製品原価高になるが、顧客先納入価格は不変の為、相変わらず採算が悪化している。今後の経済政策の施策に期待はする。
集積回路製造業	現状大手企業の生産の動きがありません。大手企業も下半期に期待をしている状況です。装置の稼働率が悪い為、末端まで仕事が出て来るのに時間がかかりそうです。ただ、円安のため会社の状況は悪くないものの、生産まで来ていません。